ICOM

ご使用になる前に

デジタル小電力コミュニティ無線

IC-DRC1MKⅡ

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書では、注意事項と基本的な取り扱いを記載しています。
本製品の詳細な設定や別売品などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

下記URL、またはQRコードから弊社ホームページ(サポート→法人のお客様(または、個人のお客様)→取扱説明書)にアクセスすると、取扱説明書を検索できます。

アイコム株式会社　サポート情報
https://www.icom.co.jp/support/

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、TOKUDERは、アイコム株式会社の登録商標です。
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32
202009

高品質がテーマです。
A7559D-1J-1 Printed in Japan
© 2020 Icom Inc.

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

- **保証書について**
  保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡ししいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- **弊社製品の技術的なお問い合わせ先について**
  お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。
  お問い合わせ先
  アイコム株式会社 サポートセンター
  0120-156-313 (フリーダイヤル)
  ◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
  06-6792-4949 (通話料がかかります)
  受付 (平日 9:00～17:00)
  電子メール：support_center@icom.co.jp
  アイコムホームページ：http://www.icom.co.jp/

ソフトウェアについて(CS-DRC1/RS-DRC1)

本製品では、弊社ホームページから無償でダウンロードできる下記のソフトウェアをご用意しています。
CS-DRC1 ：個人やグループの名称を編集できるソフトウェアです。
RS-DRC1 ：位置情報を地図上に表示できるソフトウェアです。
※使用方法は、弊社ホームページに掲載のCS-DRC1、またはRS-DRC1の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

安全上のご注意

◎ **使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。**
◎ **次の「⚠危険」、「⚠警告」、「⚠注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。**

⚠危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について
地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
人命救助などを目的とした通信に本製品を使用し、通信の途絶、故障や誤作動、電池の消耗などにより、人命に関わる事態が生じても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 共通(無線機本体/バッテリーパック/充電器/ACアダプター)

⚠危険

◎ **引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
◎ **次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。**
- 指定以外のACアダプターを接続しないでください。
- 指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。
- 指定以外の充電器を使用しないでください。

⚠警告

◎ **分解、改造しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
◎ **万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
◎ **赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電、けがの原因になります。
◎ **電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。**
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
◎ **次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**
- ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
- ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

⚠注意

◎ **直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
◎ **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
◎ **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
◎ **−10℃～+50℃以外の環境では使用しないでください。**
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。

■ 無線機本体

⚠警告

◎ **アンテナやハンドストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。**
本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。
◎ **大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。**
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。
◎ **電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。**
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
◎ **民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。**
交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。
◎ **アンテナを接続しないで送信したり、送信しながらアンテナを接続したりしないでください。**
感電、故障の原因になります。

⚠注意

◎**アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。**
変形や破損の原因になることがあります。
◎ **針金などの細い棒でマイクやスピーカーの穴に触れないでください。**
故障の原因になることがあります。
◎ **付属品、および指定の別売品以外は使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。
◎ **テレビやラジオの近くで送信しないでください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

■ 充電器(BC-231)

⚠警告

次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
- 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また、水にぬれたときは、使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
- 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
- 電源ケーブルや接続ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。

⚠注意

次の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。
- 0℃～40℃以外の環境で充電しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
- 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
- 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。

■ バッテリーパック

⚠危険

◎ **次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。**
- バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
- バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
- 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
- バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。

◎ **火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。**
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。
◎ **火の中に投入したり、加熱したりしないでください。**
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。
◎ **コンクリートなどのかたい床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

⚠警告

◎ **使用中や充電中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。**
使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。
◎ **指定の充電時間以上、充電しないでください。**
指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
◎ **満充電後、すぐに再充電を繰り返さないでください。**
過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。
◎ **バッテリーパックからもれ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、放置しないでください。**
皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
◎ **テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。**
バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。
◎ **バッテリーパックは、ぬれた状態で無線機や充電器に装着しないでください。**
無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

⚠注意

次の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
- バッテリーパックを満充電、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
  長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、【II】(残量あり)の状態を表示するまで使用して、無線機から取りはずし、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。
  約1ヵ月 ：−20℃～+50℃　　約3ヵ月 ：−20℃～+35℃
- 寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
- 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

バッテリーパックの特性と寿命について
◎ バッテリーパックは消耗品です。充電できる回数は、300回～500回が目安です。充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどバッテリーパックに異常があると思われたときは、使用を中止してください。
◎ 発火や火災の原因になることがありますので、劣化したバッテリーパックは使用しないでください。
◎ 使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。
◎ 劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。
◎ 充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。無線機の性能を十分活用するため、長くても5年以内の交換をおすすめします。

バッテリーパックの膨らみについて
性質や特性により、内部が劣化し膨張することがあります。
◎ ひんぱんに充電している
◎ 満充電直後でも再充電している
◎ 高温な場所で使用・保管している
◎ 本書で説明する充電方法と異なる
バッテリーパックが膨張した場合は、劣化に伴う寿命ですので、新しいものと交換してください。

バッテリーケースについて
単4形アルカリ乾電池専用のバッテリーケース(別売品：BP-295)をご使用になる場合は、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

使用後はリサイクルへ
Li-ion
この製品は充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。
JBRCホームページ　http://www.jbrc.com/

ウェルドラインについて
本製品の外観にスジのように見える箇所は、樹脂成形時に現れる線(ウェルドライン)で、ヒビやキズではありません。ご使用には問題ありません。

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。
インバーター回路内蔵のおもな電子機器
◎LED照明器具　◎電磁調理器　◎給湯器
◎自動車に搭載された電子機器　◎太陽光発電装置

電波法上のご注意

◎ 本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。分解や改造をしないでください。
◎ 本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。そのため、ご使用いただけるアンテナは、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたものに限定されます。
付属の「IC-DRC1MKⅡ用アンテナについて」を参考にしてください。
技術基準適合証明(工事設計認証)を受けていないアンテナを使用すると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。
◎ 他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
◎ 使用できるのは、日本国内に限られています。
◎ 本製品は、電波法施行規則第6条第4項第2号(13)で定める、人・動物検知通報システムであり、位置情報の取得および通報の機能が義務付けられている特定小電力無線局です。免許不要局であり、無線局の免許や登録の申請および電波利用料は必要ありません。動物の行動や状態を管理する無線システムと同じ周波数を使用していますので、サルやクマ等の出現のおそれがある場所では混信のおそれがあるため、ご使用をお控えください。

音声圧縮(符号化)方式について

本製品の音声圧縮(符号化)方式は、弊社が開発したTOKUDER方式を採用しています。

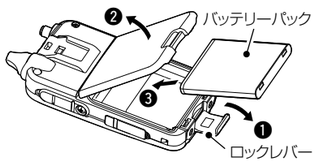
株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977)　東京都墨田区菊川3-17-2アドン菊川ビル4F / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5　URL: https : //www.exseli.com/

付属品

- □アンテナ …… 1
- □回転式ベルトクリップ …… 1
- □バッテリーパック …… 1
- □保証書
- □ハンドストラップ…… 1
- □ACアダプター(USBケーブル付) … 1
- □ご使用になる前に(本書)
- □IC-DRC1MKII用アンテナについて

■ バッテリーパックの取り付けと取りはずし

本製品の電源を切った状態で、右図の手順(❶～❸)にしたがってください。
※取りはずすときは、本製品の電源を切ってから、同じ手順で取りはずしてください。

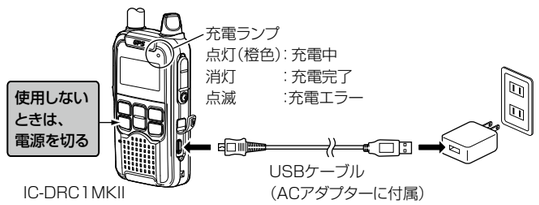


⚠注意
しばらく使用しないときは、バッテリーパックを本製品から必ず取りはずしてください。本製品の電源を切った状態でも、常に微少の電流が流れていますので、電池が消耗する原因になります。

■ アンテナ/回転式ベルトクリップの取り付け

■ 充電のしかた

お買い上げいただいたときや2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。
※電源を入れたまま充電すると、充電が完了するまでの時間が長くなります。



※充電ランプが点滅した場合は、充電エラーですので、ただちに充電をやめ、正しい温度範囲で充電しなおすか、新しいバッテリーパックに交換してください。

⚠危険
◎ 充電するときは、必ず本製品に対応した充電器をご使用ください。
◎「安全のご注意」(表面)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

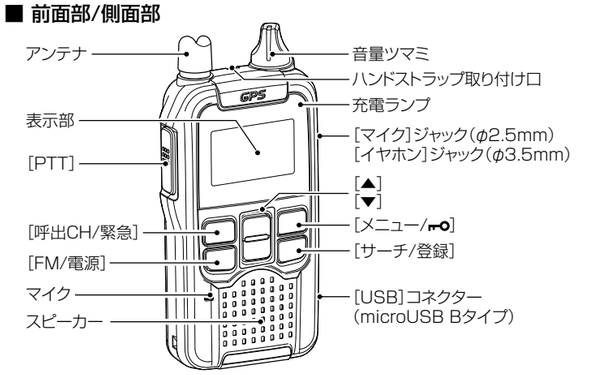
■ 充電時間と運用時間の目安

充電時間　約4時間30分(ACアダプターを使用時)
運用時間　約11時間(パワーセーブON時)　約9時間(パワーセーブOFF時)★
(送信1、受信1、待ち受け18の割合で繰り返し運用)
★パワーセーブの詳細な設定条件については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

※推奨充電温度範囲:10℃～35℃
※ご使用になる充電器によって、充電時間や運用時間が異なります。
※バッテリーパックの残量がない状態で充電した場合の時間です。
※上記以外の方法で充電した場合の動作、使用時間は保証対象外です。
モバイルバッテリーなどでの充電で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

各部の名称

■ 前面部/側面部



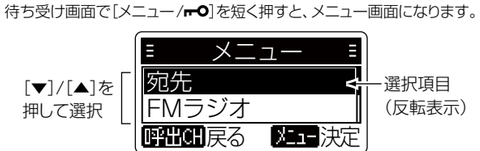
■ 表示部

【待ち受け画面】

※説明のための表示例です。実際の画面とは異なります。

①	受信している電波の強さ(目安)を4段階で表示 無★1　弱　中　強　★1 待ち受け時や送信時、受信電波の強さが著しく弱いときの表示です。
②	混信防止(キャリアセンス)表示
③	呼出種別表示 全体:全体呼び出し、グループ:グループ呼び出し、個人:個別呼び出し
④	GPS状態表示 :位置情報取得、(点滅):位置情報未取得、表示なし:GPSパワーセーブ中
⑤	呼び出しチャンネルスキャン機能設定時
⑥	ロック機能動作時
⑦	FMラジオ電源ON時
⑧	バッテリーパックの残量(目安)を4段階で表示 十分、残量あり、残量少(早めに充電)、点滅 残量なし(要充電) ※ (残量少)表示時、音量調整範囲は、0～27になります。 ※ 点滅 (残量なし)表示時、音量調整範囲は、0～24になります。 :乾電池(アルカリ電池ケース(BP-295))使用時、 残量なし(要交換) ※ 表示時、音量調整範囲は、0～24になります。 :USB給電時(バッテリーパック未装着時、またはアルカリ電池ケース使用時に、付属のACアダプターを使用したとき) :USB給電/充電時(バッテリーパック、充電器(BC-231)使用時を含む) :充電時での充電障害発生時
⑨	コンパス表示(相手のいる方向)、北向きを基準とした方角を表示
⑩	日付表示(月日、曜日、時間を表示)
⑪	宛先表示(CS-DRC1で個人名やグループ名を設定時は、その名称が表示)
⑫	通話チャンネル表示(呼び出しチャンネル設定時は、「呼出CH」が表示)
⑬	発信:送信時に点灯　着信:受信時に点滅 緊急:緊急呼び出し時に点滅　応答:緊急呼び出しで応答があると点灯

【メニュー画面】
待ち受け画面で[メニュー/⊶]を短く押すと、メニュー画面になります。



項目選択操作の表記について
本書では、各メニューに表示される項目の選択操作を略表記で説明しています。
略表記　:「宛先」を選択する
略表記の詳細説明:[▼]/[▲]を押して「宛先」を選択し、[メニュー/⊶]を押す

基本操作について

1. 電源を入れる

[FM/電源]を長く(約1秒)押すと、電源が入り、待ち受け状態になります。
※IC-DRC1MKIIが表示されたあと、10ケタの機器ID(固有の番号)が表示されます。
機器IDは、本製品のシリアルシールにも記載されてます。
※同じ操作をすると、電源が切れます。

2. 音量を調整する

音量ツマミを時計方向に回すと、音量が大きくなります。
※調整範囲:0～32((十分)、および (残量あり)表示時)

3. 通話チャンネルを合わせる

[▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。
※選択範囲:01～17、呼出CH

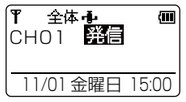
通話チャンネル表示

4. 呼び出しをする(送信する)

が表示されていないことを確認し、
[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。
呼びかけたらすぐに、[PTT]をはなします。
- 押しているあいだは、「発信」が表示されます。

※電波法により、連続送信(通話状態)が1分を超えると、通話を自動的に切断します。
切断後、2秒間は送信できません。

マイクに向かって話すときは、口元から約5cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。
マイクを近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。



送信時

5. 呼び出しを受ける(受信する)

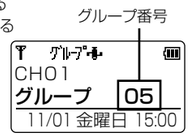
信号を受信すると、「着信」が表示され、受信している電波の強さ(目安)を4段階で表示します。
※受信中は、呼出種別、「着信」、送信側の機器ID、宛先表示が点滅し、送信側との方向と距離が表示されます。
※応答するときは、「着信」が消えたことを確認してから、[PTT]を押します。

呼出用チャンネルについて
「呼出CH」で送信すると、電波が届くすべての無線機に対して送信します。
呼出CHは、通話したい相手に通話チャンネルを伝えたいときや、緊急時や一斉に呼びかけたい場合など一時的な呼び出しにご使用ください。
「呼出CH」で呼び出し後、通話をつづける場合は、空いている通話チャンネルに切り替えてから通話してください。
※[呼出CH/緊急]を短く押しても設定できます。
メニュー画面の「呼出CHスキャン」項目をONに設定すると、別のチャンネルを表示していても、「呼出CH」から呼び出しがあると、「呼出CH」からの音声を受信します。
[メニュー/⊶] >「設定」>「呼出CHスキャン」

ロック機能
[メニュー/⊶]を長く(約1秒)押すと、「ピピッ」と鳴って、⊶が点灯します。
※同じ操作をすると、ロック解除できます。
※[PTT]、音量ツマミ、[FM/電源](電源ON/OFF)は、ロック中でも使用できます。

グループ通話をするときは

グループ通話は、通話チャンネルとグループ番号の2つが一致した無線機とだけ通話できる機能です。特定のグループと通話するのに便利です。
1. [▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせる
2. [メニュー/⊶]を短く押して、メニュー画面に切り替える
3. 「宛先」を選択する
4. 「グループ」を選択する
5. 相手と同じグループ番号を選択する
   - 「グループ」と選択したグループ番号が表示されます。
6. [PTT]を押して通話する



グループ設定時

表示について

自分が送信中のときに、同じチャンネルでほかの人が送信すると、混信を受け通話ができない場合があります。
また、ほかの人が通話中のチャンネルで送信すると、その通話を妨害することになります。このような混信を防止するために、自動的に送信を制御する機能(キャリアセンス)が動作します。

通話範囲について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなることがあります。
◎ 通話範囲は、周囲の建物などの状況により異なりますので、下記の数値を目安に通話してください。(送信出力:0.5W)
市街地:約200～500m、郊外:約1～2km、見通しの良い場所:約3km
◎ 通話範囲であっても、山や建物などが障害物となって、通話しにくくなることがあります。そのときは、場所を少し移動して通話してください。
また、テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

送信時間制限について

1回の送信で連続して通話できる時間は、「1分以内」と電波法で定められています。
制限時間の10秒前になると、「ピッ」と鳴ります。
連続通話時間が1分になると、「ブブッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。
停止してから2秒間は送信できません。
通話を再開する場合は、2秒後に[PTT]スイッチを押してください。

位置情報表示の見かた

送信時に自分の位置情報を送れます。受信側では送信者との距離と方向が確認できます。
※送信側/受信側ともに位置情報を取得できている必要があります。

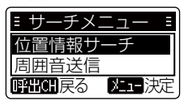
屋内では特に、ご使用になる場所や建物の周辺環境によって、GPS衛星からの信号(位置情報)を受信できない場合があります。

相手の位置情報や周辺音声を受信するには

下記の操作をするには相手の機器IDを登録している必要があります。
登録のしかたは弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFマニュアル)をご覧ください。

■ 位置情報サーチ

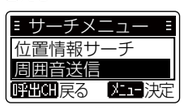
通話をしなくても、GPSで相手の居場所を検索します。
※送信側/受信側ともに位置情報を取得できている必要があります。
1. [サーチ/登録]を短く押して、サーチメニュー画面に切り替える
2. 「位置情報サーチ」を選択する
3. 宛先を選択する
   - サーチを開始し、「発信」が点滅します。
   - 相手の無線機からの応答がない場合は「応答なし」、応答があれば相手の機器IDと方向と距離が表示されます。



「位置情報サーチ」選択時

■ 周囲音送信

相手の周辺音声を受信できます。緊急時など、相手が送信できない状態でも周囲の音声を受信することで、状況把握に活用できます。
※この機能を使用するには、相手の無線機で、「周囲音送信」項目が「禁止しない」に設定されている必要があります。
1. [サーチ/登録]を短く押して、サーチメニュー画面に切り替える
2. 「周囲音送信」を選択する
3. 宛先を選択する
   - 送信を開始し、「発信」が点滅します。
   - 相手の無線機から周辺音声を10秒間送信します。
   - 相手の無線機からの応答がない場合は、「応答なし」が表示されます。
     応答中は、「着信」が点滅し、10秒間周囲音を受信します。



「周囲音送信」選択時

困ったときは

本製品の詳細な説明は、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFマニュアル)でご確認ください。

現象	原因	処置
電源が入らない	バッテリーパックの端子接触不良	バッテリーパックの端子を清掃する
	バッテリーパックの消耗	充電する
	バッテリーパックの過放電保護回路が動作している	バッテリーパックを十分に充電してから電源を入れる
「電池を装着してください」が表示される	パソコンからUSBケーブルで給電している	バッテリーパック、またはアルカリ電池ケース(BP-295)を装着する
送信できない	1分間の送信時間制限が過ぎている	2秒以上待ち、もう一度、送信する
	ほかの無線機が送信しているため、混信防止機能が動作している	が消灯してから送信する